

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

平成30年1月1日



平成30年・年頭のご挨拶

一般社団法人 電池工業会
会長 田村 憲司

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
日頃より、電池業界へのご理解と発展に、ご厚情を賜っております
関係各位に、心より御礼申し上げます。



昨年は、年初のアメリカのトランプ大統領の就任が象徴していますように、世界の情勢は、まさに激変の年となりました。なかでも、一昨年の12月に採択されましたパリ協定に、アメリカが自国の経済に不利にな

ることを理由に離脱を表明したことが印象に残りました。

パリ協定では、各国が温室効果ガスの排出削減目標を維持する義務と、当該削減目標を達成するための国内対策をとる義務を負っています。日本の目標は、

2030年に2013年の水準から26%削減することです。

そのような中で、電池は持続可能な社会に向けて鍵を握るデバイスであります。今後、車載用電池と電力貯蔵用蓄電池の重要性は増し、一層の市場の拡大が見込まれています。

自動車につきましては、環境・燃費規制が大変厳しくなり、電動車への移行が加速しております。これを可能にするのは、安全で高い性能の電池であることは間違いありません。

また、電力貯蔵用途では、再生可能エネルギーの導入および普及を、各国が促進しており、日本も経済産業省が2030年度に全体の約20%を再生可能エネルギーで賄うことを目標に掲げています。普及に伴い電力系統が不安定化するため、電力の需要量と供給量を調整する定置用大型蓄電池が不可欠となります。

産業の構造も自動車の電動化によりエレクトロニクス比率が高まり、自動車メーカーの垂直統合型から専門性をもつデバイスメーカーなどとの水平分業型へ移行することも考えられます。特に、電池は高い専門性が必要ですので、これから電池業界の重要性は益々高

まってくるものと確信しています。

電池工業会は、1997年に、社団法人日本蓄電池工業会と社団法人日本乾電池工業会が統合し発足してから、昨年に20年の節目を迎えました。これからの20年は、これまでとは比べものにならないほど変化の激しい時代になると思っております。

そうした中で、電池事業は、持続可能な社会を実現する大義ある事業であるとともに日本の戦略事業であります。今後、グローバルでの材料・内部構造・大容量化などの開発競争が熾烈化することは間違いありません。この競争の中で、最も重要なのは、「安全性」であり、「信頼性」であることを肝に銘じておく必要があります。

電池工業会では、業界の健全な発展に向け、電池関連の国際規格化や政府への政策提言をおこなってまいります。今後とも、関係省庁ならびに関係各位のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員会社様の益々のご発展と、皆様方のご健勝をお祈りして、年頭の挨拶とさせていただきます。

平成29年度第3回一次電池部会を開催

平成29年12月8日、佐野部会長(村田製作所)を議長に、平成29年度第3回一次電池部会を開催した。冒頭、佐野部会長よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールに則り部会進行する旨の宣言がなされたのち、専務理事の挨拶、続いて事務局報告があった後、各委員会の代表者より活動報告があった。



1. 清水専務理事挨拶

12月2日に開催された電池フェスタに参加した。電池教室やクイズなどに工夫を凝らし、コイン形電池の誤飲については詳しく説明をした。この誤飲については、電池フェスタだけでは限られた発信なので、今後はもっと広く広報することが重要と考える。マイナス情報だけが先行してもよくないので、マイナスをプラスにする発信が必要に思う。誤飲対策でパッケージからコイン形電池を取り出し難くなり、消費者からのクレームにもなりかねない。パッケージ変更の理由やBAJの誤飲対策の取り組みなどを正しく伝えていくよう積極的に広報活動を行っていききたい。その為にも、各社のご協力をお願いしたい。



2. 審議事項

1) 各専門委員会の平成29年度活動経過報告について

(1) ボタン電池回収推進委員会

- * ボタン電池回収状況（協力店数と回収量）
 - ・協力店数は9～11月の間では純増。昨年度末からは増加。回収量は4～8月累計で前年比増115%。
- * 入会規約見直しに関する環境省との打合せ結果
 - ・11月24日に環境省廃棄物規制課を委員長と事務局で訪問、見直し案を説明し、アドバイスをいただいた。修正案送付済みで問題なし。
 - ・来年1月5日からの運用開始を目指し、リーフレットの刷り直し、HPの文言変更、入会申請フォームの修正等を進め、回収協力店への一斉配信で告知する。
- * ボタン電池回収推進センターへの新規入会
 - ・10月26日付で株式会社村田製作所より入会の申請があった。一次電池部会承認を得て、同社を事業推進会社及び回収対象ブランドに加え、1月5日の回収協

力店への一斉配信で告知する。

- * 廃掃法施行令改正に伴う事業者からの問い合わせが増加
- ・水俣条約への対応の一環として、新たな廃棄物区分「水銀使用製品産業廃棄物」を追加する改正廃掃法施行令が10月1日、施行された。空気亜鉛電池が該当し、同電池を扱う収集運搬及び処分業者はこの廃棄物区分の業の許可が必要となった。
- ・新しい規制を嫌った収集運搬業者・処分業者がボタン電池全般の処理を敬遠する動きがあり、引き取りを断られた一般企業からBAJへの処理方法の問合せが増加。

(2) 器具委員会

- * BAJ ホームページの器具に関する内容の改訂
- ・携帯電灯の歴史、携帯電灯の種類の見直し、ホームページの改訂を実施
- * 工業規格SBA S 1601携帯電灯の改正内容の検討
- ・コイン形リチウム電池の誤飲対策、用語の定義にヘッドライトを追加など

(3) 資材委員会

- * 主要5材料の需要・供給・価格動向について
- * JOGMEC発行のベースメタル市況概況の資料を参考に、勉強会を実施
- * コンプライアンス遵守の取組み（下請法等の違反事例の勉強・研究）

(4) 消費者委員会

- * 経産省の電池担当者の交代に伴い、BAJの取り組み内容を説明
- ・熊本地震での課題について、再度要望を行った。

(5) PL委員会

- * 電池事故事例（NITE事故速報、国民生活センター）の情報解析
- * BAJ ホームページの改訂検討
- ・広報総合委員会から依頼された「電池のQ & A」（乾電池の充電）について審議し、ホームページを改訂。

(6) 技術委員会

1. 規格小委員会活動（IEC 関連）

- 1) 10/11～13のIEC TC35国際会議（米国プロビデンス）の報告実施。

2) IEC 60086シリーズの改正審議。

2. 規格小委員会活動 (JIS関連)

- 1) JIS C 8514 (水溶液系一次電池の安全性) : 11月6日に経産省への申出完了。
- 2) JIS C 8500 (一次電池通則) 及び JIS C 8515 (一次電池個別製品仕様) は、9月20日発行。

3 リチウム小委員会活動

- 1) リチウム電池輸送規制対応 (SAE G-27 及び ICAO) 及びリチウム一次電池関連の IEC 60086 シリーズ、UL、UN、ANSI 規格等の審議
- 2) IEC 60086-4 Ed5の3rd CDに新規附属書 Annex E (参考) を追加し、“チャイルドレジスタンスパッケージ”、“ピクトグラム”、“誤飲シミュレートしたセル評価方法”を提案

4. リチウムコイン二次電池国際規格WG活動

- ・IEC 61960-4(コイン二次性能規格)の2nd CD案の検討。
- ・時計用二次電池規格(IEC 62466)をISO TC114にて規格化再開の動きがあり、SC21A(パリ会議)での意見交換を想定して、JPNCの対応を協議中。

5. リチウムコイン電池の誤飲事故対策 (誤飲対策セルWG / 誤飲対策パッケージWG)

- 1) 誤飲対策パッケージWG活動
 - ・ガイドライン(第二版) : 10月2日公開。
 - ・IEC 60086-4 ED5の3rd CDの新規附属書 Annex E (参考) への日本提案を協議。
- 2) 誤飲対策セルWG活動
 - ・10月にANSI/CPSC(米国)に対し、BAJの誤飲対策に関し説明を実施し、理解を得た。
 - ・IEC 60086-4 ED5の3rd CDの新規附属書 Annex E (参考) への日本提案を協議。

6. 環境規格WG活動

- ・TC35プロビデンス会議にてIEC 60086-6 CD案を審議。
- ・会議コメントに基づく修正案を審議。

(7)国際環境規制総合委員会

* 各国環境規制アップデート

- ・欧州 : ELV 指令改正案
- ・アジア : ベトナム WEEE 実施細則

- ・中南米 : パラグアイ「家庭用電池及びバッテリーの包括的管理法」

* その他活動計画

- ・韓国・台湾視察 (11/26~12/1)
- ・日米欧三極電池専門家会議 (TWG/チリ/5月) への参加

(8)広報総合委員会

* キャンペーン・PR関係

- ・みらいのでんちアイデアコンテスト
11月11日の電池の日にホームページ上で受賞者を発表
- ・啓発キャンペーン第2弾 : 「電池は正しく使いましょう」PRキャンペーン
11/10、17、24 毎日新聞に掲載
- ・「電池の日」告知広告 (朝日新聞) 11/11
- ・手づくり電池教室 : 開催予定37ヵ所のうち、35ヵ所が終了
- ・電池エネルギー体験教室の開催概要を決定。来年1月から試験的に実施予定

* 情報発信

- ・告知パネル :
コイン形リチウム電池の新パッケージ導入の周知用ポスターを作成
- ・ホームページ更新 / 機関紙「でんち」発行

* 展示会・イベント

- ・でんちフェスタ : ギャラクシティ (東京) 12/2開催

第18回「でんちフェスタ」を開催

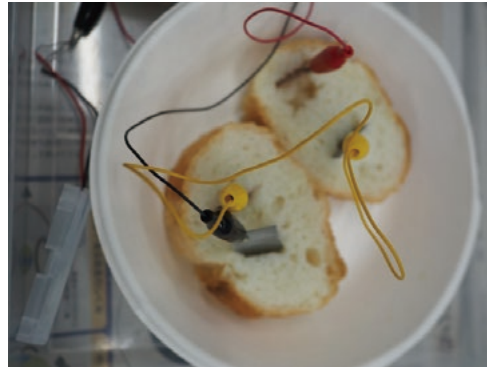
一般社団法人 電池工業会は、11月11日の「電池の日」から12月12日の「バッテリーの日」までの“電池月間”のPRイベントとして、12月2日(土)に東京都足立区のギャラクシティで第18回「でんちフェスタ」を開催した。都内のほか埼玉県や千葉県などからの来場者もあり、1,352名の来場があった。



今回で18回目を迎えた「でんちフェスタ」は、11月11日（+（プラス）と-（マイナス）の組み合わせ）の電池の日から、12月12日（野球のバッテリーのポジションの1と2）のバッテリーの日までの“電池月間”のPR行事の一環で行なっているイベントで、身近な電池を広く一般の方々に再認識していただくことを目的に実施している。今回から会場となったギャラクシティ（東京都足立区）には、多くの親子連れが訪れるなど盛況で、来場者は電池のことを楽しく学ぶ「こども電池〇×クイズ」や「手づくり乾電池教室」、「電池エネルギー体験教室」などのプログラムを楽しんでもらった。

人気の「電池エネルギー体験教室」は、身近なものを使って電池作りを体験するもので、電解液には、定

番の炭（備長炭）のほか、大根、こんにゃく、パン、スポンジなどの材料を用いた実験をグループ分けして行ない楽しんでもらった。また、直列と並列の違いを、実際に豆電球の明るさの違いにより体験してもらうなど様々な実験を一人一人やってもらった。実験内容や段取りについては、毎年創意工夫を加えている。今回も、実験機器を充実させ参加者全員で一斉かつスムーズに実験に取り組めるように準備するとともに、実験の解説については、パウチした資料やホワイトボードを使って解説した結果、低学年の参加者の方々にも実験を楽しんでもらえる形となった。また、実験の解説資料は、イラストや絵がたくさん入ってわかり易いとのことでご父兄の方にも好評で、熱心にメモを取られる方、デジカメで記録する方などが多く見られた。





「手作り乾電池教室」は手作り乾電池キットを組み立てた後に、自分の名前と日付を入れたオリジナルラベルを巻き、世界に一つしかない自分だけの乾電池を完成させるもので、低学年のお子様には、必要に応じてはご父兄の方に手伝っていただくようお願いした。

この教室で作った乾電池、を使って、動くおもちゃの“虎の子”で競争させる“虎の子レース”では、早く走るもの、途中で力が尽きて止まるものなど電池の出来具合により差が出て、こちらの会場は、レース開催中は大変賑やかだった。





もクイズの回答を探すべく、一生懸命展示パネルや展示物を見て必死で取り組んでいた。二年前より行っている乳幼児のボタン電池の誤飲への注意喚起については、「こども電池〇×クイズ」と「電池エネルギー体験教室」の途中でプログラムを中断してプレゼンテーションを行なったほか、パネルの展示コーナーでは、誤飲防止の注意喚起をはかるパネル

メインステージでは、電池やバッテリーなどに関する問題をクイズ形式で答える「こども電池〇×クイズ」を行なった。参加者にはもちろん景品がもらえるほか、でんち博士による問題解説において懇切丁寧な解説が行なわれたことで、本ステージまわりの多くの来場者は、クイズ終了まで足をとめてでんち博士による解説を楽しみながら学習してもらった。また、「クイズラリー」は、一昨年から希望者が全員参加できるようにしたため、子どもたちに交じり父兄など大人の来場者

や、ボタン電池の新パッケージ導入の告知パネルの展示を行ない、理解を促した。

「でんちフェスタ」はリピーターや小学校あてのDM効果などにより毎年安定した来場者数を確保している。新会場となったギャラクシティは、プラネタリウムのほか、ウォールクライミング、音楽室、ダンスホールなどの様々な施設があり、終日多くの方が来場していた。でんちフェスタの様子は、当日のニュースや翌日の新聞などで取り上げられた。

平成29年 12月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	1日	広報総合委員会	平成29年度の活動総括、平成30年度の活動計画の検討、セーフティグッズフェア、他。
	20日	第212回講習実施委員会	神奈川県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、合否を判定。
	20日	国際環境規制総合委員会	地域別規制動向アップデート、海外出張報告、他。
	25日	JIS C 8715-2 改正 原案作成委員会	JIS C 8715-2 改正 原案審議。
二次電池部会	1日	自動車鉛分科会	JIS改正審議、SBA改正審議、他。
	6日	据置アルカリ分科会	IEC規格改正審議。
	12日	据置アルカリ分科会	SBA規格改正審議。
	15日	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。
	18日	電気車鉛分科会	SBA G 0808規格の改正審議、他。
	20日	据置鉛分科会	JIS規格改正審議、他。
	21日	産業電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	21日	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
二次電池第2部会	1日	環境規格分科会	IEC規格対応・審議。
	4日	据置LIB分科会	IEC規格対応、JIS規格改正対応。
	5日	法規WG	蓄電池システムの規制検討。
	6日	蓄電システムWG	建築関係の基準検討。
	7日	車載LIB-WG	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	8日	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	12日	大形カスタムWG	大形蓄電池システムの普及促進検討。
	13日	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	15日	環境規格分科会	IEC規格対応・審議。
	18日	リチウム二次分科会	JIS C 8712改正案審議、他。
	19日	国際電池規格委員会	IEC規格対応・審議。
	20日	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	20日	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格対応、審議。
	21日	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS原案作成・審議。
一次電池部会	4日	リチウムコイン二次電池国際規格WG	IEC61960-4 2nd CD案審議。
	4日	リチウム小委員会	IEC 60086-4の検討、リチウム電池輸送規制対応、他。
	5日	技術委員会	各小委員会及びWGの活動報告。
	6日	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、他。
	8日	一次電池部会	各委員会からの報告および審議。
	11日	環境規格WG	IEC 60086-6 CD案に関する審議。
	15日	器具委員会	SBA規格の改正検討、携帯電灯の市場調査。
	19日	リチウムコイン二次電池国際規格WG	IEC61960-4 2nd CD案審議。
20日	誤飲対策セルWG	評価手法等のまとめ(評価方法のIEC規格化、詳細検討)。	

10月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2017年10月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	393,478	75,711	96%	103%	3,836,041	717,497	102%	105%
一次電池計	250,405	9,265	105%	105%	2,298,082	80,065	103%	102%
酸化銀電池	71,797	1,103	108%	101%	705,516	11,519	109%	106%
アルカリ乾電池計	90,149	4,596	100%	103%	772,872	36,041	97%	99%
単 三	×	×	×	×	×	×	×	×
単 四	×	×	×	×	×	×	×	×
その他	15,982	1,329	107%	107%	123,271	9,843	104%	102%
リチウム電池	88,459	3,566	108%	109%	819,694	32,505	104%	105%
二次電池計	143,073	66,446	84%	103%	1,537,959	637,432	102%	105%
鉛電池計	2,657	15,668	103%	109%	26,026	148,798	104%	107%
自動車用	2,011	10,077	106%	113%	19,591	94,072	104%	109%
その他の鉛蓄電池	646	5,591	96%	103%	6,435	54,726	102%	103%
アルカリ蓄電池計	39,317	14,515	83%	98%	428,926	146,923	96%	98%
ニッケル水素	34,901	13,493	83%	98%	389,496	137,590	100%	98%
その他のアルカリ蓄電池	4,416	1,022	81%	100%	39,430	9,333	71%	90%
リチウムイオン蓄電池計	101,099	36,263	84%	103%	1,083,007	341,711	104%	108%
車載用	59,351	23,188	89%	105%	631,169	218,505	127%	116%
その他	41,748	13,075	78%	99%	451,838	123,206	83%	97%

10月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2017年10月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	219,130	45,915	88%	108%	2,225,416	433,491	101%	114%
一次電池計	104,365	2,794	99%	113%	1,008,541	26,465	104%	109%
マンガン	0	0	0%	0%	2	5	81%	29%
アルカリ	4,591	85	522%	295%	37,518	750	89%	105%
酸化銀	48,569	571	96%	107%	483,977	5,790	110%	113%
リチウム	50,963	2,043	95%	112%	486,086	18,962	100%	106%
空気亜鉛	240	3	62%	51%	930	10	96%	88%
その他の一次	2	93	832%	120%	28	948	9%	185%
二次電池計	114,765	43,121	80%	108%	1,216,874	407,026	100%	114%
鉛蓄電池	189	1,331	108%	114%	1,785	12,857	105%	118%
ニカド	2,146	231	74%	100%	17,363	1,761	56%	69%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	1	318%	582%
ニッケル水素	10,963	6,685	68%	97%	133,787	67,355	92%	117%
リチウムイオン	91,871	22,723	80%	88%	985,065	237,805	101%	104%
その他の二次	9,595	12,151	102%	208%	78,873	87,246	113%	154%
全電池合計（輸 入）	127,652	14,485	101%	114%	1,151,625	132,964	102%	106%
一次電池計	119,366	2,237	100%	115%	1,074,269	18,360	102%	108%
マンガン	17,659	194	130%	124%	135,570	1,515	96%	104%
アルカリボタン	4,247	28	161%	174%	27,029	203	93%	90%
アルカリその他	77,380	1,081	92%	100%	736,553	10,063	104%	106%
酸化銀	80	2	29%	32%	1,118	38	51%	64%
リチウム	14,863	570	106%	98%	124,968	5,089	106%	112%
空気亜鉛	5,124	95	109%	113%	48,844	878	90%	100%
その他の一次	13	267	261%	1362%	187	574	120%	185%
二次電池計	8,286	12,248	106%	113%	77,356	114,604	103%	105%
鉛蓄電池	634	2,808	88%	90%	6,701	29,307	109%	111%
ニカド	66	181	40%	166%	703	1,644	74%	114%
ニッケル鉄	0	0	—	—	7	6	1830%	620%
ニッケル水素	2,085	392	102%	95%	19,166	4,076	100%	96%
リチウムイオン	5,334	7,911	111%	129%	49,702	68,605	108%	104%
その他の二次	168	956	220%	91%	1,078	10,965	41%	102%